



付録B 浚渫と浚渫物投棄の詳細

目的

浚渫と浚渫物の投棄に関連するリスクを管理すること。

対象者

- ・ 海洋マネージャー
- ・ 企業の環境マネージャー
- ・ プロジェクトマネージャー
- ・ 業種範囲で浚渫作業が含まれる契約業者と下請業者

適用範囲

本文書は、サハリンエナジーおよびその請負業者によって実施される全ての海事活動に適用される。

本文書は、ロシア連邦の内海、領海隣接区域、大陸棚、排他的経済水域における海上設備とパイプラインの運送および固定を目的としたあらゆる種類の浚渫と浚渫物の投棄を範囲とする。

本文書は、国境を超える、浚渫および浚渫物のロシア領域から/までの移動に対する税関要件は範囲としない。

サハリンエナジーの経営管理者の要件および説明責任

1. 海洋浚渫工事 [EIA補遺 浚渫および浚渫物の投棄]

- ・ 計画されている浚渫工事と投棄場所の決定は、主要な環境部当局と協議のうえ決定すること。
- ・ いかなる浚渫も、連邦法「ロシア連邦の内海、領海および隣接区域について」およびロシア連邦の水に関する規定に従って実施されなければならない。
- ・ 廃棄物の内海、領海および沿岸海域への投棄は禁止されている。

2. 浚渫 - アニワ湾 [EIA補遺 アニワ湾における浚渫および浚渫物の投棄]

- ・ 全ての計画された浚渫工事および浚渫物の投棄作業は海洋作業計画 (MOP) に従って実施される。アニワ湾の海洋作業計画はヨルサコフ港内の港湾当局による承認を受けなければならない。
- ・ 浚渫および浚渫物の投棄作業は、鯨の移動に最も影響を与えやすい期間 (5月~9月) に実施してはならない。
- ・ 投棄地域として指定された場所の外 (水面において半径200m) での浚渫物の投棄は禁止されている。正確な位置の測定のために、船舶にはGPSが提供される。投棄作業の日常管理記録と検査を通じて監視される。

3. 内海および領海内における浚渫物の投棄

- ・ 連邦法「ロシア連邦の内海、領海および隣接区域について」およびロシア連邦の水に関する規定によると、沿岸海域、内海、領海内における危険物質の排出、廃棄物その他の物質の廃棄および浚渫中に取り出された海底堆積物の廃棄を除いて、禁止されている。
- ・ 内海および領海内で浚渫中に取り出された海底堆積物を投棄することは、保護区域およびそれらの立入禁止区域、内海および領海内の釣り保護区域において禁止されている。また、海底堆積物が「1972年の廃棄物その他の物の投棄による海洋汚染の防止に関する条約」(ロンドン条約) およびその他のロシア連邦の国際条約に従い、ロシア連邦政府が認可している危険物質リストに記載された危険物質を含んでいる場合、禁止されている。
- ・ 浚渫中に取り出された海底堆積物を内海および領海内へ投棄することは、ロンドン条約、その他のロシア連邦の国際条約および連邦法「ロシア連邦の内海、領海および隣接区域について」の要件に従って実行されなければならない。
- ・ 浚渫中に取り出された海底堆積物を内海および領海内へ投棄することは、内海および領海内における州の環境を所管するロシア連邦当局が発行する許可に従って実行されなければならない。許可申請書には、予測された環境影響を確認するための投棄場所および浚渫物の投棄中ならびに投棄後の海水の状態のモニタリングプログラムを含めて、連邦法「ロシア連邦の内海、領海および隣接区域について」で規定された関連情報を記入しなければならない。
- ・ 許可申請書には、浚渫物の投棄を実証する書類が添付されなければならない。特定の法域の対象であれば、環境専門家審査 (SEER) の肯定的な結論と浚渫物の投棄の水使用許可を、許可申請書に添付しなければならない (港海域では不要)。

4. 大陸棚での浚渫物の投棄



海洋環境保護基準

第01版

- 浚渫中に取り出された海底泥物の大連冊への投棄は、ロンドン条約、その他の国際条約、および連邦法「ロシア連邦の内海、領海および隣接域について」を遵守すること。
- 浚渫中に取り出された海底泥物を大連冊へ投棄することは、処分土砂の安全な破棄場所を確認するため、大連冊における環境規制を所管するロシア連邦当局の許可に従って実施されなければならない。許可申請書には、連邦法「ロシア連邦の大連冊について」で規定された関連書類をすべて添付しなければならない。
- 大連冊での浚渫土の投棄許可の発行は、環境専門家審査（SEER）の肯定的結果証明なしに限り、禁止されている。
- 投棄作業の開始と終了、投棄場所周辺の安全制限区域の規模、場所、航行支援の方法、および警告施設に関する情報は、「船員への通報」で告知できるよう、ロシア連邦水路測量部に適宜提出しなければならない。
- 事前に想定された環境影響を確認するため、浚渫、輸送、投棄の場所およびその隣接エリアの作業中および作業完了後の環境モニタリングプログラムは、大連冊の環境規制を所管するロシア連邦当局の事前の承認を得なければならない。